

『古典探究（漢文編）』実践 ルーブリック評価例

実践 第一部 同じテーマの作品を比較し、それぞれの特徴を理解しよう

1. 学習指導の目標

思考力・判断力・表現力等	A読むこと	ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。
--------------	-------	---

パフォーマンス課題

「王昭君」を詠じた詩歌を比較しよう ①「王昭君」(『西京雜記』)と、五九ページに掲載した作品とを比べ、比較する点・異なる点をまとめよう。 ・李白「王昭君」・大江朝綱「王昭君」・赤染衛門「王昭君をよめる」 ②①でまとめた点を踏まえ、それぞれの作品の特徴について、ノートにまとめよう。 ③グループに分かれ、各自がまとめた点を比べて、共感する点や意見が異なる点を話し合ってみよう。 「王昭君」をテーマに描かれた絵画を分析してみよう。 ①『西京雜記』を手がかりに、「明妃出塞図」にはどのようなことが描かれているか、話し合ってみよう。 ②菱田春草の「王昭君図」や安田靫彦の「王昭君」と比べて、どのような点が異なっているか、話し合ってみよう。
--

2. ルーブリック表

評価の観点	
評価のレベル	
A 十分満足できる	各作品の特徴について自らの考えを的確にまとめた上で話し合いに参加している。 また、他者との共通点や相違点について気づくことができ、自身の考えを再考しようとしている。
B 満足できる	各作品の特徴について自らの考えをまとめた上で話し合いに参加している。 また、他者との共通点や相違点について気づくことができている。
C 努力を要する	各作品の特徴について自らの考えをまとめられないまま話し合いに参加している。 また、他者との共通点や相違点について気づくことは不十分である。

【評価基準の考え方】

* 「「王昭君」を詠じた詩歌を比較しよう」については「レッスン③」、「「王昭君」をテーマに描かれた絵画を分析してみよう」においては「列す②」の活動を中心に作成した。話し合いに参加する前に自身で各作品を比較してその特徴をまとめること、その上で話し合いに参加し、共通点や相違点に気づくことを重視した。